



# 農家の方23名が、「暗渠排水の集中管理孔活用をした地下かんがいシステム」導入に向けた現地研修会に参加

## (現地研修会概要)

- 概要：
  - 石狩振興局調整課・整備課では、農家戸数の減少や高齢化などの対策として、農作業の省力化を図るため、暗渠排水の集中管理孔を活用した地下かんがいの普及促進の取り組みを行っています。
  - 取り組みの一環として、先進的な取り組みを行っている地域を訪問する現地研修会を実施しており、平成26年度は、振興局や関係機関の方を対象に空知管内の農家を訪問し第1回目の現地研修会を実施しました。
  - 本年度は、当別町と新篠津村においてモデルほ場を設置し、地下かんがいに関する各種調査を実施しており、地下かんがいに興味のある農家の方を対象に第2回の現地研修会を実施しました。
  - 今年も昨年同様、空知管内岩見沢市を訪問し、地下かんがいを実践している農家の方から、取り組んだきっかけや効果・水位調整方法などの話を聞き、意見交換をさせていただきました。
- 現地研修日：平成27年7月14日
- 参加者：40名（当別町の農家 13名、新篠津村の農家 10名、関係職員 17名）
- 場所：岩見沢市（道営事業 幌向地区と新赤川南地区）



用水路と暗渠排水を接続する「集中管理孔」

## 道営事業 幌向地区 「清水氏の畑のほ場」を現地視察



清水氏より、取り組みの説明を丁寧に頂きました



集中管理孔を、じっくり真剣に観察



現地を見ながら、疑問に思ったことを質問



集中管理孔の日常管理の説明などに熱心に聞く

## 道営事業 新赤川南地区 「上條氏と西谷内氏の水田のほ場」を現地視察



上條氏より、直播の説明を丁寧に頂きました



西谷内氏より、直播の説明を丁寧に頂きました



集中管理孔使用時の注意事項の説明に、熱心に聞く



集中管理孔に水を投入させ、満水状態となるほ場の説明



## 移動中のバスの中では、石狩振興局職員が参加農家に、理解を深めるため説明



地下かんがいに取り組む経緯について説明



集中管理孔を活用した地下かんがいの仕組みを説明



地下かんがいに関するビデオを上映



石狩振興局の作成配布資料を見て、説明を聞き、勉強

- 研修を終えて：
  - 当日は、気温30度を超え、説明者及び研修者は汗だくとなり、現地では、積極的に質問が飛び交い、実際に集中管理孔に水を流入させる様子を熱心に観察するなど、今後活かす貴重な現地研修会となりました。又、農家の方からは、今回の研修会を高く評価し、もう一度、現地視察の企画をお願いしたいとの要望がありました。
  - 次回に向け、情報収集、試験ほ場のデータ結果の情報提供など、更なる効果的な現地研修会を行うべく気持ちを新たにしました。